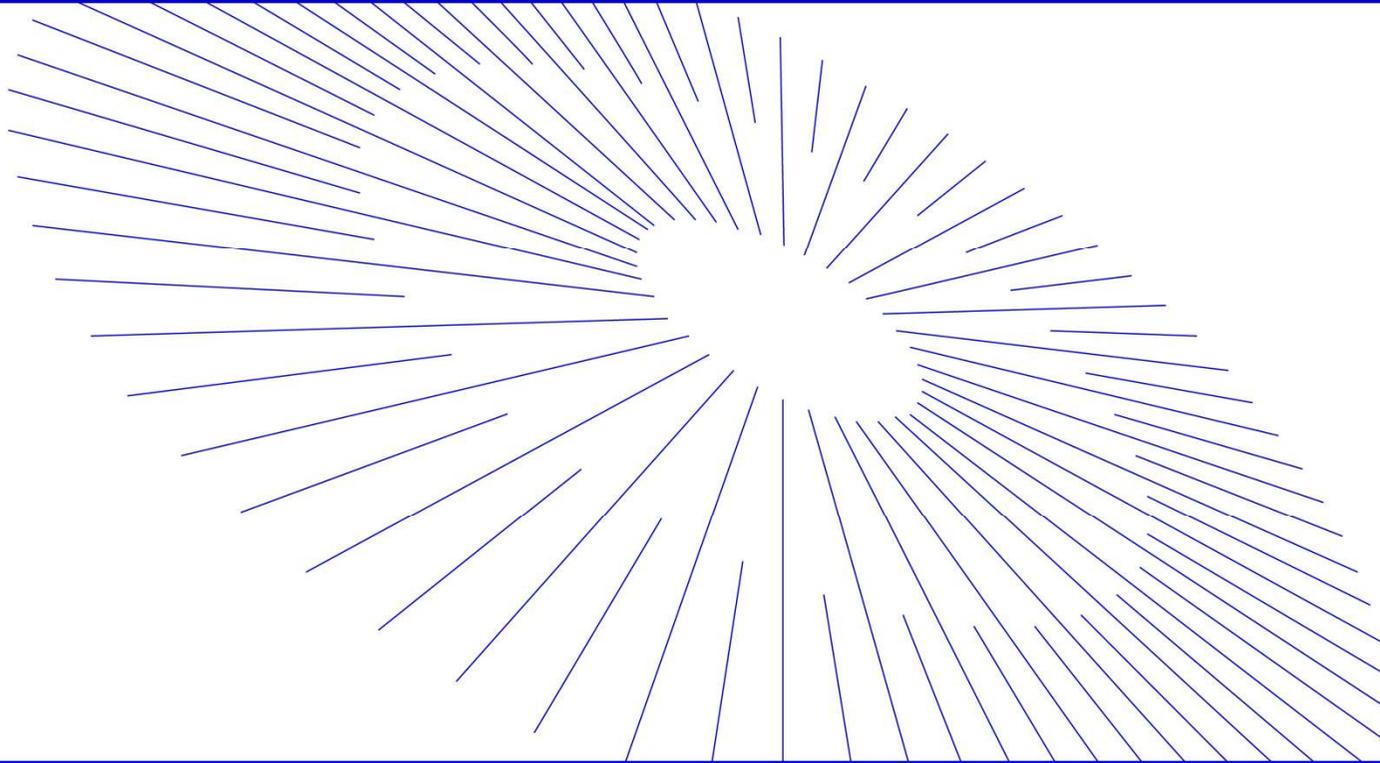


Edge2 **v9.13.5** リリースノート

2025/08/07





種別	改善項目	改善内容	参考資料またはUIイメージ	
新機能 機能改善	ジオイド2024 日本とその周辺に対応	先般、国土地理院から案内のあった標高改定に従い、プロジェクト作成時に新しいジオイドパラメータを選択できるように改修しました。	P4	
	北米ジオイド対応	GEOID06に対応	なし	
	DJI M3D対応	DJI Dock 2との連携は不可、I-con 精度検証は未検証となっております、今後のDJI Dockとの連携のを先に鑑みてまずはD J I M 3 Dの簡易的なS F Mに対応します	なし	



種別	改善内容
不具合改修	exFAT改善対応（不安定動作の改善） ex-fatでフォーマットされたSDカードもしくはUSBメモリを使用した際に、稀に動作不安定になることがあった
	固定局性能/不具合の改善（衛星マスク対応、Glonass HWバイアス削除、電波ノイズ対策） mCi4 v5.5についてはデジタル無線経由でのRTCM3.2 MSM4の配信でGlonass がゼロとなる問題を改修しました。
	検証点のラベル名ペース文字除去（制約対策） 検証点の名前にスペースが入った場合に正常に点群を生成できないことがあり、これを改修しました。
	RTKとPPK共にtifまたはgtxファイルの垂直座標を使用時にGCPを使うとエラーが発生(0x90400001) 本件に関して改修を実施しました。
	ポイントの標高差分（基準点群、比較点群、標高差）がすべて0.000 mと表示される場合がある 本件の改修を実施しました。
	一部ユーザー様にて（Edgeに接続できない）というトラブルを改修しました。（エラーコードなし）
	ダッシュボード現場からインポートしたプロジェクトで点群を生成したが、垂直精度検証ですべて範囲外になる DHHN2016に関する不具合改修を実施しました。
	Tabletで表示されたエラーコード欄に機種番号と日付を表示する（内部CS対応改善の為）
	EDGE2の土壤確認機能について 精度不良が確認されました為、改修を実施しました。
Dashboard インポートエラーの対応 タイムアウト時間を5秒から30秒に変更しました。	

プロジェクト生成時、使用する座標系として公共を選択いただいた際、垂直にGeoid2024を選択できます。（垂直のみ）
 Dashboardと対応内容を揃えており、同じ仕組みが実装されています。
 JGD2024(EPSSG Undefined) JGD2024(vertical) height を選択ください。

※自己位置推定時のマウントポイントは以下の通りです。

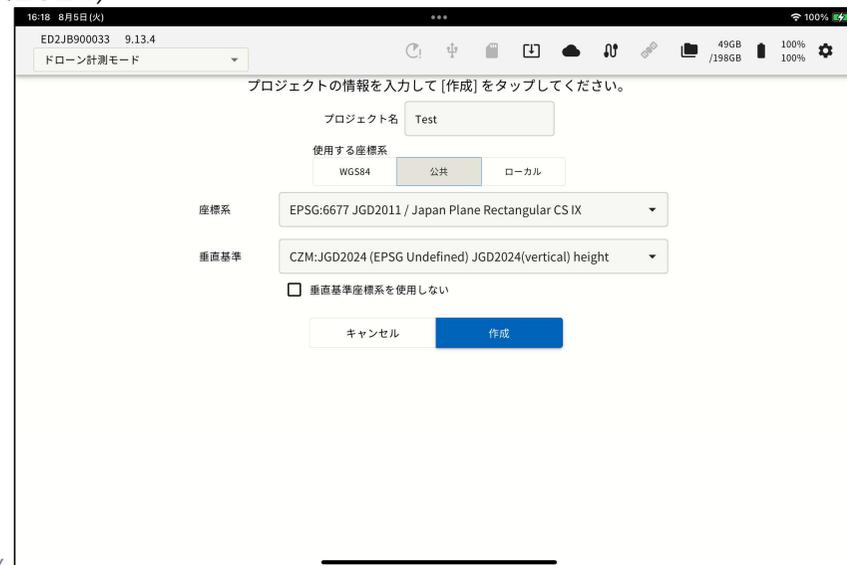
【新規配信開始予定のマウントポイント（令和7年8月28日開始）】

■RTCMバージョン3.2

- RRSGD2024 : 移動局に最も近い電子基準点及びドコモ基準点(測地成果2024)
- RRSD2024 : 移動局に最も近いドコモ基準点(測地成果2024)
- RRSHGD2024 : RTKハンドオーバーで移動局に最も近い電子基準点及びドコモ基準点(測地成果2024)
- RRSHD2024 : RTKハンドオーバーで移動局に最も近いドコモ基準点(測地成果2024)

■RTCMバージョン3.0

- RRSGD2024V30 : RRS GD2024においてRTCMバージョン3.0
- RRSD2024V30 : RRS D2024においてRTCMバージョン3.0
- RRSHGD2024V30 : RRS HG2024においてRTCMバージョン3.0
- RRSHD2024V30 : RRS HD2024においてRTCMバージョン3.0



	Ntrip配信		アルインコデジタル無線配信					
	RTCM3.0	RTCM3.2 MSM7	RTCM3.0		RTCM3.2 MSM4		CMR	
			512 ⇄ 512	1024 ⇄ 1024	512 ⇄ 512 ※2	1024 ⇄ 1024	512 ⇄ 512	1024 ⇄ 1024
iショベル PC200i-10 MC-R3	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
iショベル PC200i-11 MC-i4	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
iショベル PC200i-12	未検証※1	接続のみ確認(精度は未検証)	未検証※1	未検証※1	未検証※1	OK	未検証※1	未検証※1
iブル D65 MC-R3	OK	-	OK	OK	-	-	OK	OK
iブル D37 MC-i4	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
3DMG	OK	OK	-	OK	OK	OK	OK	OK
PC138 Topcon搭載機	OK	OK	OK	OK	OK	OK	未検証※1	未検証※1
HiPer-V	OK	-	OK	-	-	-	OK	-
HiPer-HR	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
SC Rover	OK	OK	OK	OK	OK	OK	-	-
SC Rover2	-	-	OK	OK	OK	OK	OK	OK

※1 未検証：機材手配都合、当日の機材トラブルで検証できていないもの。

※2 弊社内部では動作確認OKとなりましたが、一部確認中のところがあるので今少しお待ちください。

捕捉：上記のほか、Trimble SPS855、R750、Topcon X-53xと接続実績がございます。

■ ■ v9.13.5 RC 1

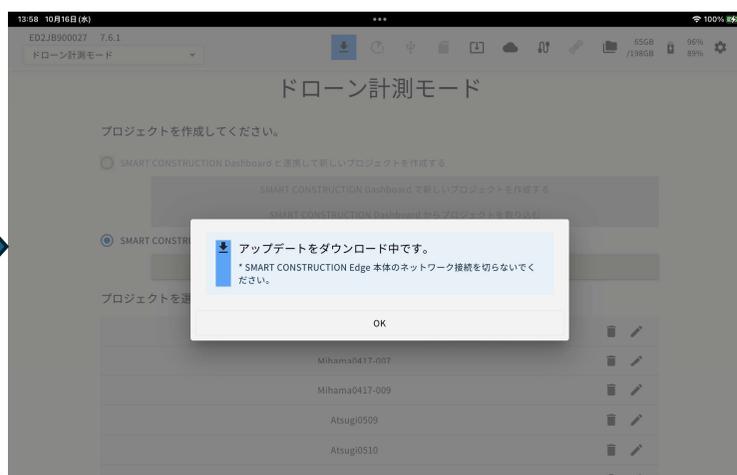
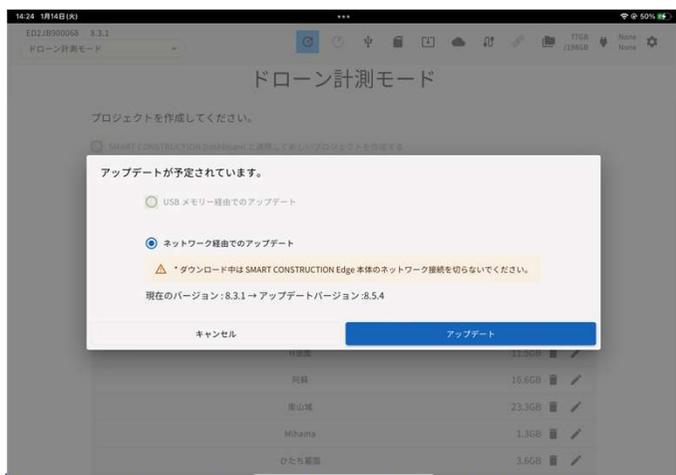
OTA名称 : "9.13.5"
 FW VERSION : "9.13.5"
 OS VERSION : "7.2.0"

- ・ ※IOS 18.2以上にIPADのOSアップデートすることを推奨いたします。

<v7以降のアップデート手順>

- ・ ネットワーク経由でアップデート対象のファイルのダウンロードが完了したのち、再起動ボタン押しを行う
- ・ 緑LED点滅から点灯に切り替わると、OS含めてアップデートが完了します。

有線LAN接続など、良好なネットワーク環境なら30分、LTEなどであれば1時間以上、環境によっては3時間～4時間程度長時間アップデートに時間が掛かる場合がありますので、ご注意ください。
 ※回線速度は下り50Mbps程度を良好と想定しています、



アップデートの準備ができました。
 速やかに SMART CONSTRUCTION Edge 本体を再起動してください。

- * アップデート中は AC アダプターを接続してください
- * アップデート中は SMART CONSTRUCTION Edge 本体のネットワーク接続を切らないでください。
- * アップデートには5分程度かかります
- * 本体正面のエラー/アップデート LED が点灯している間は電源を切らないでください

次回 SMART CONSTRUCTION Edge 本体の電源を入れた時にネットワークに接続している場合、アップデートが実行されます。

後で再起動
再起動

<背景> バッテリー充電に伴う不具合

市場で数件、バッテリーの充電ができないという不具合がありました。根本対策として、バッテリー制御マイコンのアップデートを実施します。それに伴い、バージョンアップシーケンスが以下のようになります。

- ① 従来通り、アプリがダウンロードされます。
- ② ダウンロード完了（オレンジの↓）後、電源をOFF/ONください
- ③ OSのダウンロードが始まります。
- ④ OSのダウンロードが終わると、右のポップアップが表示されます。
- ⑤ AC接続し再起動ボタンを押すと、4方向LEDの赤点灯がしばらく続きますが、そのままお待ちください。電源OFFとなったら、通常通り再起動すればアップデート完了です。

※⑤の手順でAC給電をしていない場合

通常通り電源のOFF/ONができますが、サブマイコンのアップデートがなされません。電源ON中にAC給電し、電源OFFしたタイミングでアップデートされます。

市場問題 バッテリー充電すると数秒で止まる（LED OFF）

- 対象シリアル
2023/2/10納品の日本仕向250台口
ED2JB000571
ED2JB000573
- 症状
セット本体にACアダプタ接続し、バッテリーを2個挿入し充電すると、本体フロント残量LED点滅（充電中表示）とバッテリーのLEDが点滅するが、しばらくすると（数秒で）**LED止まる（＝充電停止する）**ただし、バッテリーを何度か抜き挿しすると継続して充電が出来るようになる。
- 原因
セット本体のサブマイコンがバッテリー充電中のエラー（V-07）を検出し充電を止めているが、過放電近隣の残電圧低いバッテリーかつ低温時の条件でリチウムイオン電池の特性により検出してしまっている。
※ この症状が発生した場合においても、正常に充電可能となった場合には継続してバッテリーを使用することに問題はない。



充電開始する（写真）が、その後、LED点滅止まり充電OFFする

大項目	状態	異常検出内容	(検出後の) BATCHG	(検出後の) CHGEN	(検出後の) BAT DIS CHG	(検出後の) DDON_EN	エラー LED表示	復帰方法	エラーコード
電圧異常	充電中	充電電流が300mA以上、かつ、充電回路電圧ADC値- バッテリー読み出し電圧差1.7V以上	全てLow	Low	(保持)	(保持)	あり	両/ワッペリ-抜き	V-07

このエラーを検出すると充電を止めるという意味

このエラーを検出しても放電は止まらない（セット電源入っていない/ONのまま）という意味

- 暫定対策
 - ・ 発生したらバッテリーを挿抜して再トライする（再度エラーが出たらまた挿抜して再トライする）
 - ・ 温かい部屋（15℃以上）で保管および充電作業を実施する（充電前にバッテリーを温かい部屋で保管すること）
 - ・ Airpeak充電器（LBG-H1）で充電する

